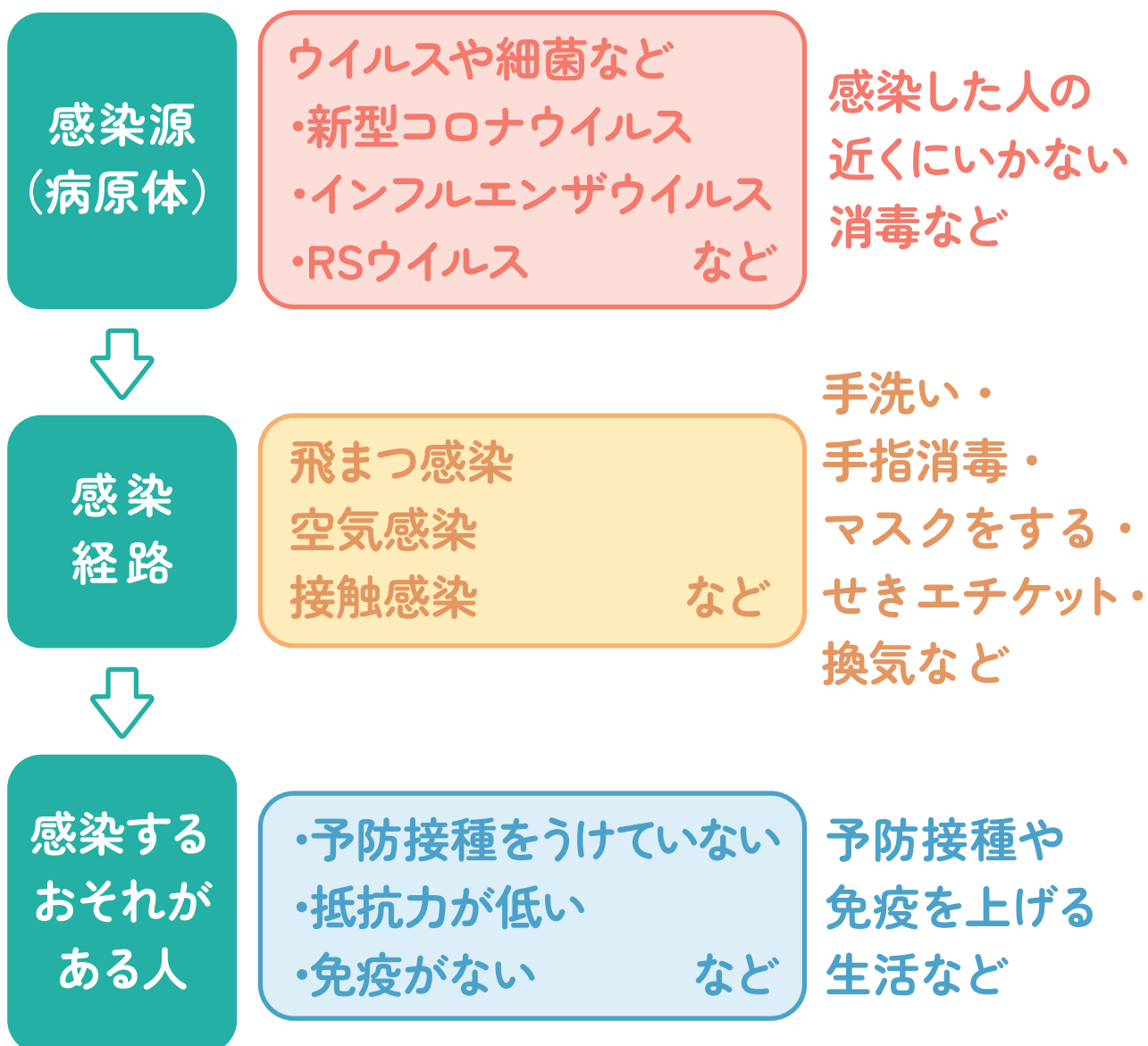


1. 感染症とは

感染症とは、ウイルスや細菌などの微生物が体内に侵入し、増えることによって症状が出る病気をいいます。

感染は、①病原体、②感染経路、③感染するおそれがある人の3つ全てが存在することで成立します。いずれかを遮断することによって、感染を予防できます。



参考 主な感染経路

病原体となる微生物が、体内に入ってくる経路を、感染経路といいます。感染経路を知り、必要な対策をとることで、病原体の侵入を防ぐことができます。

図.さまざまな感染経路



ひとつの感染症でも感染経路が複数あるものがたくさんあります。代表的な感染経路は以下のとおりです。

1 飛まつ感染

感染者のせきやくしゃみ、会話で飛び散る唾液の小さな粒（飛まつ）を通じて感染します。飛まつは、1～2メートル飛びます。

例：インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症

2 エアロゾル感染

飛まつよりもさらに小さな粒（エアロゾル）が空気中を漂い、離れた場所の人にも感染します。換気の悪い密閉空間はリスクが高くなります。

例：新型コロナウイルス感染症

3 空気感染

飛まつから水分が蒸発し、マスクの隙間より小さな病原体が空気中を漂うので、同じ部屋にいただけで感染する可能性があります。

例：麻しん、水痘（みずぼうそう）、結核



4 接触感染

病原体が付着した手や物（ドアノブ、手すり）を触った後、その手を洗わずに自分の目や口を触ることで感染します。

例：ノロウイルス感染症、
アデノウイルス結膜炎

